

神奈川大ゼミが優勝

NS物流研 学生研究発表

若手運転者の確保策提言

NS物流研究会(樋口恵一会長)主催の「第6回物流関連ゼミ学生による研究発表会」(全日本トラック協会、物流ニッポン新聞社後援)が22日、東京海洋大学品川キャンパスで開かれた。関東、関西地方の大学から最多7ゼミナールがエ

ントリ。人材難に向けて若手ドライバー確保への提言」をテーマに発表した神奈川大学の齊藤美ゼミが栄冠に輝いた。

樋口会長は「アメリカにはサブライチエーン(SC)の学科を持つ大学が100あり、8千〜1万人が専攻している。日本でSCを学ぶ学生は少なく、10年経てば大変な国力の差になる。日本の世界的な競争力を高める一助となるべく、最も重要なベースの物流をしっかり」と確立できるように、この会を立ち上げた。皆さんの素晴らしい発表を期待し

たい」とあいさつ。

会場は、学生や事業者の



齊藤ゼミの岡田さんらを前に樋口会長が賞状を讀み上げ

熱気で包まれ、発表と質疑応答が行われた。学生の研究や考え方に興味を持つ会員外企業も多く参加した。優勝した齊藤ゼミは、高校新卒者の獲得に絞って研究。ゼミ生が「トラックドライバーとして就職したい」と親に相談したところ、「きつい」「危険」「低賃金」などを理由に反対されたことを紹介し、「親へのアプローチも必要」と訴えた。

また、「地域における貢献活動やユニークな動画を製作してドライバーの楽しさを発信すれば、興味を持つてもらいやすくなる」として、「感謝される企業」「貢献する企業」「興味を持たれる企業」を目指すべき」と結論付けた。

齊藤ゼミを代表して受賞の言葉を述べた岡田菜摘さん(3年)は「優勝できて本当にうれしい。これまでの人生で一番努力した。多くの人の協力を得て、皆で作りに上げた」と喜びをこめしめた。

本紙の北原秀紀記者が優勝トロフィーを贈呈。「今後、皆さんは様々な分野で活躍されるでしょうが、物流と関係の無い職種は無い。いつまでも物流の応援団でいて欲しい」と呼び掛けた。

優勝以外の成績は次の通り。

- 準優勝 東京海洋大学・黒川久幸ゼミ
- 敢闘賞 大阪産業大学・浜崎章洋ゼミ
- 努力賞 流通経済大学・小野秀昭ゼミ
- 流通科学大学・森隆行ゼミ
- 同志社大学・石田信博ゼミ
- 目白大学・橋本雅隆ゼミ

(高橋朋宏)